

TOEX

門 袖 灯 デュアルブラケット (MB-1型)

取付説明書

保管用

お客様へ

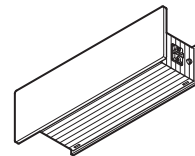
お買いあげありがとうございます。

- ご使用前によくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと必ず保管し必要なときにお読みください。
- 施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、工事店・電器店に依頼してください。

上手に使って上手に節電

安全上のご注意

必ずお守りください



お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。



警告

■異常を感じた場合、速やかに電源を切る



必ず守る

異常が収まったことを確認し、販売店にご相談ください。

■器具を改造したり部品交換をしない



分解禁止

火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

■ランプは器具表示のものを使用する



必ず守る

間違った種類、ワット数のランプを使用すると、火災のおそれがあります。

■アルカリ系洗剤は使用しない



禁止

強度低下による破損のおそれがあります。



注意

■照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。



必ず守る

点検せずに長時間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
●1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。

■点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない



接触禁止

やけどの原因となることがあります。

■器具の取り外しは工事店、電器店に依頼する



必ず守る

一般の人の取り外しは法律で禁止されています。

■ランプ交換・お手入れの際は、壁スイッチをオフにする



必ず守る

通電状態で行うと感電の原因となることがあります。

施工説明

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

■ 器具の取り付けは、説明書に従い確実にを行う



取り付けに不備があると、
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

必ず守る

■ 指定以外の場所に取り付けない



- ・天井面
- ・浴室などの湿気の多い場所
- ・補強のない薄い場所（ベニヤ板や石膏ボードなど）
- ・取付面が本体パッキンより小さい場所

禁止

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

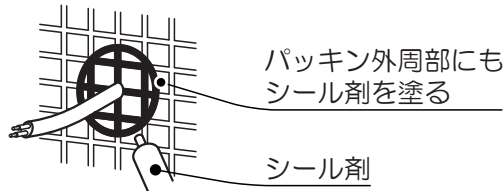
- この器具は防雨型、壁面・据置取り付け兼用です。
(防湿型ではありません)

■ タイル面など取付面に凹凸がある場合はすき間を埋める



本体パッキンと取付面とのすき間を防水シール剤などで埋めてください。
防水が不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。

必ず守る



■ 交流100ボルトで使用する



過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

必ず守る

■ 接地工事は、電気設備の技術基準に従い確実にを行う



接地が不完全な場合、感電のおそれがあります。

必ず守る

■ 器具表示の指定方向以外は取り付けない



火災、感電のおそれがあります。

必ず守る

■ 電源線は端子台の差込み穴の奥まで確実に差し込む



差し込みが不完全な場合、火災・感電のおそれがあります

必ず守る

注意

■ 温度の高くなるものの上に取り付けない



火災の原因となることがあります。

- ガス機器やその排気筒の上に取り付けしないでください。

禁止

■ 使用地域の周波数以外で使用しない

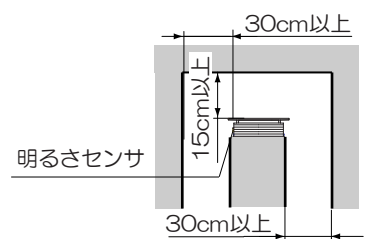
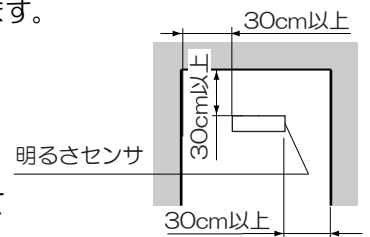


間違っても使用すると、火災の原因となることがあります。

禁止

取付場所について

- 次の様な場所に取り付けると、明るさセンサ誤動作の原因となります。
 - ・昼間でも暗い場所・・・明るいうちに点灯し、朝、消灯が遅くなることがあります。
 - ・夜間でも明るい場所・・・点滅したり、点灯しないことがあります。
 - ・車のヘッドライトや他の照明の光が明るさセンサに直接あたる場所・・・点滅することがあります。
- 明るさセンサに自然光が入りやすい向きに器具を取り付けてください。
- 壁面取付の場合
 - 器具天面・側面から30cm以上、明るさセンサから30cm以上障害物から離して取り付けてください。（障害物があると点滅を繰り返すことがあります）
- 据置き取付の場合
 - 器具天面から15cm以上障害物から離して取り付けてください。（障害物があるとランプ交換の際、作業ができなくなります。）
 - 明るさセンサから30cm以上障害物から離して取り付けてください。（障害物があると点滅を繰り返すことがあります。）
- 壁スイッチを設けることをおすすめします。
壁スイッチを設けないとランプ交換やお手入れの際に電源をOFFにできません。

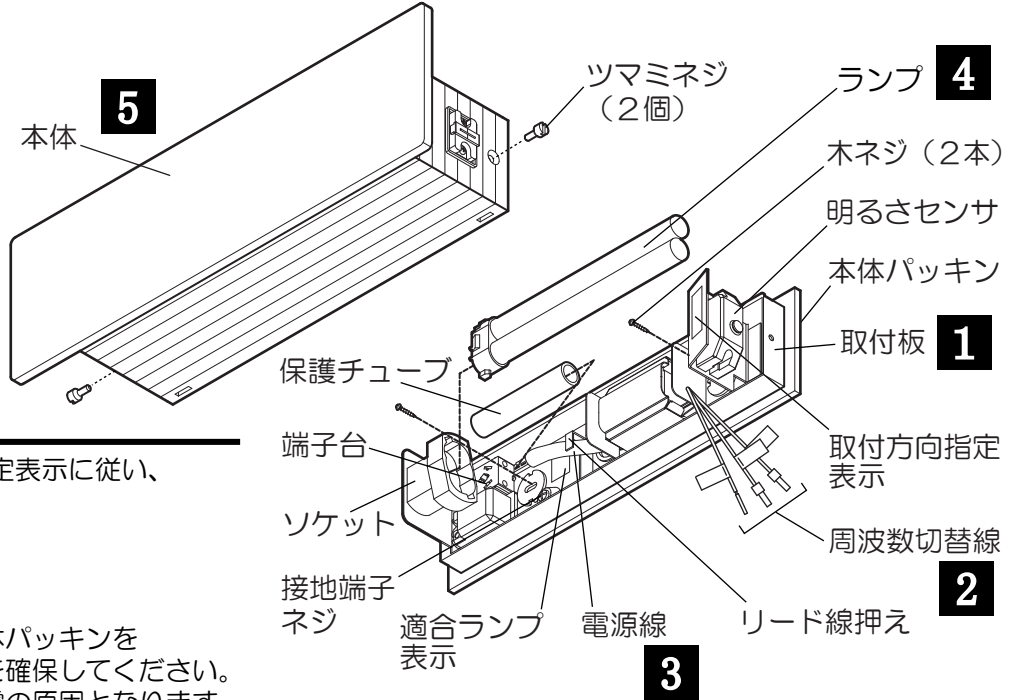
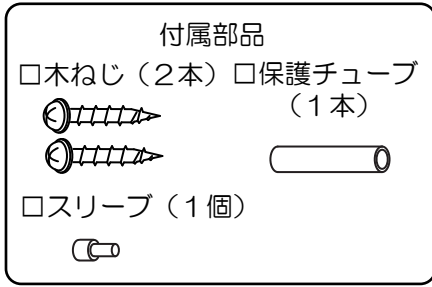


各部のなまえと取り付けかた

⚠ 注意 器具取り付けの際は、安全のため電源を切ってください。通電状態で行うと感電の原因となることがあります。

取り付けの前に

- ツマミネジ（2個）を取り外して本体を取り外す

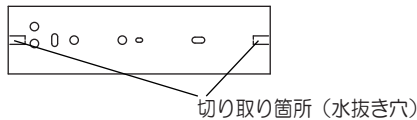


- 壁面取付の場合、取付方向指定表示に従い、付属の木ネジ（2本）で

取付板を取り付ける

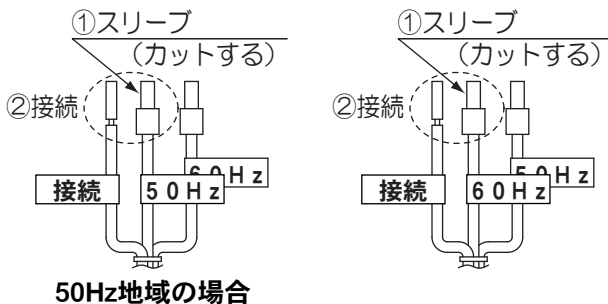
取付ピッチ 170mm

注意 据置取付の場合、本体パッキンを切り取って水抜き穴を確保してください。不備がありますと感電の原因となります。



2 周波数切替線を接続する

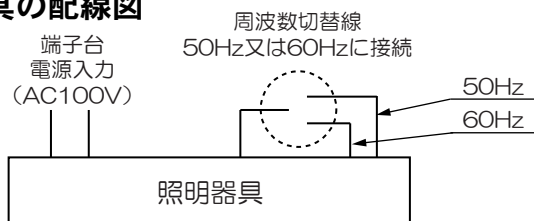
- ① 「50Hz」または「60Hz」と表示している配線のうち使用する配線のスリーブをカットし、先端の被覆をむく。
- ② 「接続」と表示しているラベルがついている配線の先端の被覆をむき、付属のスリーブを使用して①の配線と確実に接続する。
- ③ 接続後の配線は取付板からはみ出さない様に取付板内に配置する。



⚠ 警告

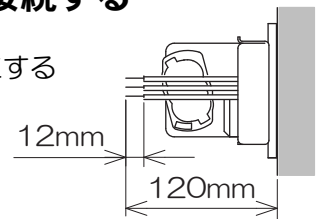
50Hz、60Hzの接続を間違えないようにしてください。間違えて接続すると、発熱による火災のおそれがあります。

照明器具の配線図

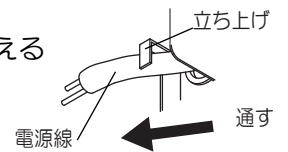


3 端子台に電源線を接続する

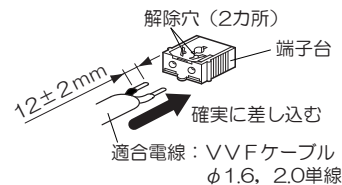
- ① 電源線を下図のように加工する



- ② 電源線に保護チューブを被せ、リード線押えて電源線を押しやる



- ③ 電源線を端子台に差し込む



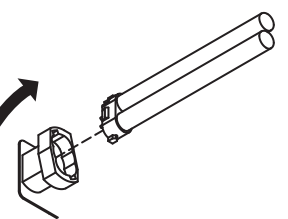
電源線の外しかたマイナスドライバーなどを解除穴に差し込みながら電源線を引き抜く

- ④ 接地端子ネジからD種（第3種）接地工事を行ってください。

接続が不完全な場合、感電・火災の原因になります。

4 ソケットにランプを取り付ける

差し込んで右にまわす

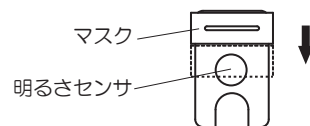


5 本体を取り付ける

ツマミネジ（2個）を確実に締め付ける。

使用上のご注意

- 器具が点滅を繰り返す場合
天井、壁面の仕上げなどにより反射光が強く器具が点滅を繰り返す場合は、明るさセンサのマスクを中央より少しずつスライドさせ、反射光の量を調整します。
注) マスクを中央までスライドさせると明るいうちに点灯し、朝、消灯が遅くなります。
- 低誘虫の効果は、虫の種類(すう光性の有無)、周囲の環境(付近に明るい光源がないなど)によって異なります。
- 一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。



ランプを交換する

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

- ランプが黒化して明るさが低下する、点滅を繰り返す、点灯しなくなるとランプの寿命です。
ナショナル製ランプをお求めください。
- ランプの種類は器具に表示しています。

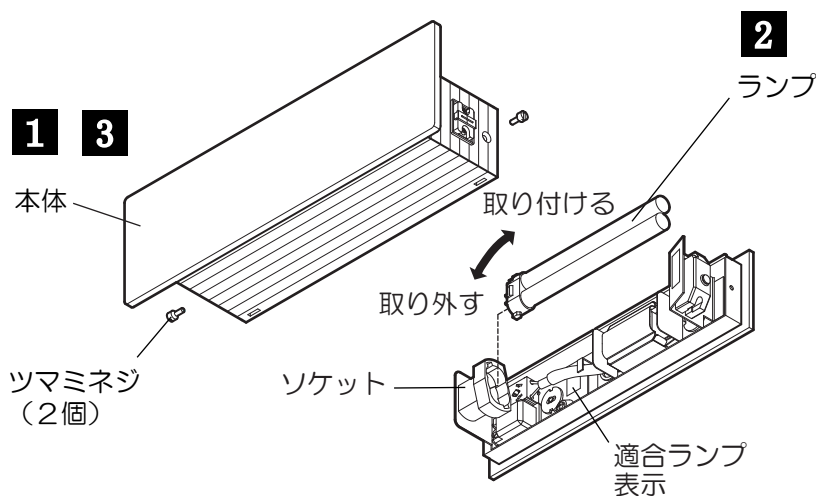
1 本体を取り外す

ツマミネジ(2個)を取り外す。

2 ランプを交換する

3 本体を取り付ける

ツマミネジ(2個)を確実に締め付ける。



お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

- 明るく安全に使用していただくため、定期的(6カ月に1度程度)に清掃してください。
汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
変色、破損の原因となります。

仕様

付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

使用電圧	周波数	消費電力	付属ランプ
AC100V	50/60Hz共通	17W	13形コンパクト形蛍光灯FPL13

取説コード

Z362

200805A_1009